

スポーツと統計科学の融合 シンポジウム I

第2回 スポーツデータ解析コンペティション 報告会

主催：統計数理研究所 日本統計学会スポーツ統計分科会 日本統計学会統計教育分科会
日本統計学会統計教育委員会 立教大学社会情報教育研究センター
統計数理研究所共同研究「スポーツデータの統計解析に関する研究」（研究代表者：酒折文武）
科学研究費・基盤研究(B)「知識基盤社会を支える統計教育の新展開
—小中高と大学・社会を繋ぐ教育 システムの研究」(研究代表者:渡辺美智子)
協賛：データスタジアム（株）

2013年3月4日 (月)

中央大学後楽園キャンパス 6号館11階61125号室

開会挨拶 10:25-10:30 酒折文武（中央大学）

セッション1 10:30-12:00

統一球採用における投手および投球スタイルの変化に関する研究
—統一球で有利な投手、投球スタイルを探る—
中富亜侑, 大塚真也, 小尾拓大, 西本健太郎, 川田真吾,
佐久間光靖, 山口和範（立教大学）

ロジスティック回帰分析を用いた打者のスイングの判別
今井健太, 飯田孝久（慶應義塾大学）

勝負強さの評価

亀岡瑠, 木元亮, 小林裕菜, 宮前貴基, 池上拓人, 笹岡蘭平,
佐野源太, 八木圭太, 山田実俊, 山本義郎（東海大学）

マルコフ連鎖モデルによる配球パターンの比較

—横浜DeNAベイスターズの優勝への道のり—

青木勇人, 伊藤圭佑, 大林勝, 光山洋平, 鳥山敦史,
酒折文武（中央大学）

マルコフ連鎖を用いたWBCにおける最適打順

荒井規充, 長谷川一馬, 岩原陽一郎, 折橋拓斗, 小椋透,
鎌倉稔成（中央大学）

日本プロ野球における統一球導入後の選手の打撃成績の変化
について

池田一孝, 元広篤志, 薄井一樹, 佐々木瑛, 川村聖人,
時光順平, 鳥越規央（東海大学）

日本統計学会会長挨拶 12:55-13:00 竹村彰通（東京大学）

特別講演 13:00-13:30

データ分析ソフト「JMP」を用いた野球データの可視化と分析
増川直裕（SAS Institute Japan）

セッション2 13:40-15:10

非負値行列因子分解を応用した未対戦打者の攻略法
柳澤圭介, 酒折文武（中央大学）

打席状況の違いを考慮した指標の提案

吉良沙和, 小池啓介, 北野道春, 宿久洋（同志社大学）
捕手のリードの定量化に関する検討

齋田裕介, 新村祐紀, 武田卓也, 今村基貴,
竹内一郎（名古屋工業大学）

統一球は各打者をどのように苦しめたか

—順序プロビットモデルによる考察—

黄金早紀, 渡部亮, 柳澤圭介, 酒折文武（中央大学）

投手のピッチング戦略の分析

中野貴博, 齋藤健治（名古屋学院大学）,
西嶋尚彦（筑波大学）

スイングとストライクカウントへの影響

田辺竜ノ介, 坂口弘樹, 熊谷悦生（大阪大学）

セッション3 15:30-17:00

統一球を制するのは誰か？

飯田孝久（慶應義塾大学）

ロジスティック回帰とWinExpectancyによる勝率予測

末石直也（京都大学）, 真木和彦（ウェイン州立大学）

柏の強さの理由

沖山和希, 戸崎繭, 佐野源太, 武田瑞紀, 齋藤隆良,
宗像昌平, 趙斌, 山本義郎（東海大学）

攻撃における「くさび」の効用に関する研究

伊藤祐輝, 鈴木柚衣, 竹田篤, 川上耕平, 小松千花,
小泉有加, 山口和範（立教大学）

Jリーグの攻撃戦術力の評価規準の分析

徐広孝, 安藤梢, 熊谷紗希, 猶本光, 筏井りさ,
西嶋尚彦（筑波大学）, 鈴木宏哉（東北学院大学）

ガンバ大阪がリーグ優勝するために—シュート数増加のための要因
分析—

荒牧健吾, 石井涼, 宿久洋（同志社大学）

開会挨拶 17:00-17:05 田村義保（統計数理研究所）